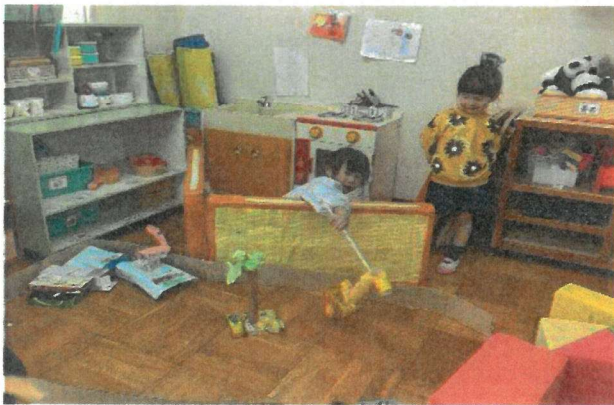


『 ゆりぐみ・ばらぐみ 動物園へようこそ !! 』

◀ こどもたちの なりきり Point ▶



ライオン

- ・「アオー」が、こい声
- ・こわいと思っただけゆてるのがわい

フラミンゴ

- ・片足でもぼんぼんのパテスカ
- ・かわいいピンク色



◀ こどもたちの なりきり Point ▶



カンガルー

- ・ジャンプすると
- ・にくきゅう

ペンギン

- ・羽がパタパタする
- ・お魚を食べるとこわい



動物園に行った翌日、一人一人がなりたい動物になったり、作りたい動物を作ったりできるように三角形や四角形に切った画用紙やカラーセロハンテープなどを用意しておきました。すると、ある子は「動物園にフラミンゴがいたよ」と言って、空き箱でフラミンゴを作り始めました。また、近くにいた子が「フラミンゴももっといっばいいだよ」と言いながら羽根とくちばしをつけてなりきっていました。それを見た子が、「私はカンガルーになりたい」「じゃあ私はライオンにする」と言ってしっぽや顔を作り、年少組を呼んで動物園を開くことになりました。「カンガルーのおうちに入れますよ」と一人の子が言うと「しっぽも触っていいんだよね」と言って、思いついたことを表しながら遊びの中に加えたり、「コンサートもしたら楽しそう」「いいねやってみよう」と友達同士でやりとりを楽しんだりしながらなりきっていました。今後も友達に思いを伝えたり、友達の思いを聞いたりしながら、友達と遊ぶ楽しさを感じていけるようにしていきたいです。



『どんぐりころころ～♪』



教師が「どんぐり転がるかなあ」と言いながら、写真のような段ボールの坂道に空き箱などをつけ始めると、「私もしたい」と言ってどんぐりの道を作り始めました。作っていくうちに「分かれ道を作りたい」「穴を開けて落ちるようにしたい」と一人一人思いを出し、教師や友達と一緒に作ることを楽しんでいました。完成後にどんぐりを転がすと「全部転がった!」と喜んで何回も転がしたり、「あれ、穴に落ちないよ」と言ってどうすれば落ちるようになるか考えたりしていました。その後、年少組を呼んで「転がしていいよ」とどんぐりを渡したり、「ピタゴラススイッチみたい」と言って歌いながら転がしたりして楽しんでいました。今後も、教師や友達と一緒に自分の思いを形にして遊ぶ楽しさを味わえるようにしていきたいです。

『も.ととべるもん!!』



寒い日が多くなってきましたが、戸外で体を動かして遊ぶ楽しさを味わえるように長縄を用意しました。初めは「へびさんに引っかからないように気をつけて」「波が来たから濡れないようにジャンプだ!」などイメージの世界に浸りながら楽しんでいました。遊んでいるうちに教師が「ウサギさんが来たよ」と言葉をかけると、子どもたちはウサギになりきって両足で飛ぶことを楽しんでいました。具体的な体の動かし方を伝えるのではなく、遊びの中で自然といろいろな体の動かし方を楽しめるように教師は関わっています。今は、何回飛べるか記録に挑戦することを楽しんでます。



12月のねらい

自分の思いを相手に伝えようとしたり、相手の思いを聞いたりして気に入った友達と遊ぶことを楽しむ。

友達と一緒にワクワクした雰囲気を感じたり、製作をしたりしながらクリスマスを楽しむ。

- 風邪を引かないように丁寧に手洗いをしたりシャツの裾をズボンに入れたりなど、生活に必要なことを自分でする。